

第33回

高知市

都市美 デザイン賞

Kochi City
Scenery Design Award

こころ豊かな景観を創り出すために

2017
受賞

THE 33rd Kochi City Scenery Design Award

都市美とは・・・

「都市美」というと、造形的に美しい街並みを想像しがちですが、私たちの心に豊かさを与えてくれる自然、人の心づかいとふれあいのある風景も「まちの美しさ」のひとつではないでしょうか。

建築物、街並み、みどりや水辺などの自然環境と歴史、文化、優しさ、親しみなどの快適さを地域に調和させて美しく親しまれる都市景観、個性的で魅力ある都市空間を「都市美」と定義し、それを創造し、再生し、守っていきたいと考えています。

～選考を終えて～

今年度における都市美デザイン賞の応募は15通あり、審査物件が10件であった。その内訳は、一般建築部門が3件、住宅建築部門が6件、街並み・まちづくり部門が1件、テーマ部門（土木・工作物）は応募がなかった。部門ごとに現地調査を実施し、入賞には一般建築部門の1件、住宅建築部門の1件をそれぞれ選考した。なお、特賞は該当なしとなった。

一般建築部門の「高知県自治会館」は、中央地区の商業地域に建ち、構造は1階から3階が鉄筋コンクリート造、4階から6階を耐火木造とする。高知城周辺における景観形成の基本方針は「お城の見えるまちづくり」であり、高度地区では景観形成の方針と基準を定め、新築等は届出が必要となるが、今年度の受賞物件は地区外にある。

外観は上品で落ち着いたデザインとし、壁面は高知城の内堀周辺の緑や建物と調和し、地域の個性と魅力あふれた新しい都市景観の創造に寄与している。広告物等の表示あるいは設置は、まちなみへの配慮がなされ、優れた景観を創出している。

住宅建築部門の「静寂の家」は、中央地区において幹線道路が整備され、比較的良好な居住環境を形成した住宅ゾーンに建っている。外観は高さを抑えた大屋根が目を引き、深い軒が印象的である。木材は高知県産材の杉を使用し、外壁は落ちつきある色遣いである。袖塀は木製で、スケール感を逸脱するようなものではなく、圧迫感を与えずに奥行を感じさせ、周辺のまちなみへの配慮がなされている。

高知市景観審議会 会長 三浦 要一

過去5年間の受賞一覧

実施回 (実施年)	受賞物件名
第28回 (2012)	高知県立県民文化ホール (改修工事) 時間と場所を繋ぐ家 路地の抜ける家
第29回 (2013)	竹林寺めぐりのもり霊廟 高知電気ビル 星窓の家 昭和町の家
第30回 (2014)	モデルショップヨシオカ 北村商事本社ビル 文化を継ぐ家 町に佇む白い家
第31回 (2015)	ちより街テラス(増築工事) 角地の家
第32回 (2016)	織田歯科医院 高台の家 近森病院・近森リハビリテーション病院周辺の街並み

高知県自治会館

本町



- 建築主…高知縣市町村総合事務組合
- 設計者…株式会社細木建築研究所
- 施工者…株式会社竹中工務店四国支店

評

「高知県自治会館」は、中央地区の商業地域に建ち、6階建てで高さが31メートルである。構造は1階から3階が鉄筋コンクリート造、4階から6階を耐火木造とし、防火地域において1階と2階の間に免震層を設けた中高層の木造耐火建築物となっている。

高知城周辺における景観形成の基本方針は「お城の見えるまちづくり」であり、平成17年と平成18年の二度にわたって高度地区（合計45ヘクタール）が決定され、建築物の高さの最高限度は28メートルとした。高度地区では景観形成の方針と基準を定め、新築等は届出が必要であり、助言・指導を仰ぐことになるが、今年度の受賞物件は地区外にある。

外観は上品で落ち着いたデザインとし、壁面は高知城の内堀周辺の緑や建物と調和し、景観形成の基準を満たしており、地域の個性と魅力あふれた新しい都市景観の創造に寄与している。広告物等の表示あるいは設置については、高知縣市町村総合事務組合の庁舎でもあり、突出広告板、広告幕は設置されておらず、壁面等広告物、敷地内独立広告物は景観形成の基準を満たし、まちなみへの配慮がなされ、優れた景観を創出している。

静寂の家



- 設計者…有限会社フォームズプラン
- 施工者…有限会社フォームズプラン

評

「静寂の家」は、中央地区において幹線道路が整備され、比較的良好な居住環境を形成した住宅ゾーンに建ち、木造、一戸建、二階建てで、屋根は切妻造、ガルバリウム鋼板横葺である。

外観は高さを抑えた大屋根が目を引き、深い軒が印象的である。木材は高知県産材の杉を使用し、控えめな格子窓を開け、黒色の外壁とあいまって落ちつきある色遣いであり、優れたデザインで地域の景観をリードしている。袖塀は木製で、スケール感を逸脱するようなものではなく、できうる限りオープンスペースを確保し、圧迫感を与えずに奥行きを感じさせ、第一種中高層住居専用地域にあって、周辺のまちなみへの配慮がなされている。

